

# 令和5年度事業報告書

社会福祉法人稲泉会

特別養護老人ホームふくしの里慶泉荘

## I. 総括

令和5年度も法人のモットーである「笑顔に勝る介護なし」を実践し、入居者のケアに取り組んで参りました。

今年度も昨年度に引き続き重点項目4点を掲げて取り組んで参りました。1点目の利用者主体の推進では、入居者一人ひとりの人権を尊重し、これまでの生活のリズムや自己決定を尊重した個別ケアに取り組んで参りましたが、昨年度の課題として残った業務が優先される介護から個々の生活に合わせた介護を深めていくことについては、24時間シートの見直しなどできない状況もあり引き続き課題として残りました。2点目の「職員の資質向上」では、施設内研修の実施やWEB研修の実施を通して取り組みました。また、「利他的志向の助長」は、今年度新たに掲げた重点項目になりますが、職員個々が、思いやりを持ち入居者のケアに協力しながらより良いケアの実践に繋げられるよう取り組みました。3点目の感染対策・防災対策の徹底では、今年度法人のBCP策定委員会に置いて、BCPを作成することが出来ました。一方で、10月から11月にかけて、新型コロナウイルス感染症のクラスターとなり、入居者の生活に支障が生じてしまい制限された生活になってしまいました。4点目の稼働率の目標については、95.3%と目標には達することが出来ませんでした。

今年度の課題に今後とも取り組み、入居者主体のケアに取り組んで参ります。

## II. 重点項目

1. 「人権の尊重」  
「利用者主体」の推進。
2. 「笑顔に勝る介護なし」  
職員の資質向上。利他的志向の助長。
3. 感染対策・防災対策の徹底  
安心・安全な生活環境の整備
4. 目標稼働数 入居率98%

### Ⅲ. 各部署における事業報告

職 種 総務課（庶務・経理）

#### 重点目標

<p>1.会計処理の適正な執行及び書帳簿の整理保管をします。</p> <p>2.庶務事項の適切な処理及び文書類の整理保管をします。</p> <p>3.利用者預り金等の適正な管理をします。</p> <p>4.サービス情報の公表をします。</p> <p>5.個人情報保護規定を順守します。</p> <p>6.情報提供・公表及び広報活動を推進します。</p> <p>7.補助金・助成金受給のための情報収集</p>
---

#### 重点実施項目

	実施項目	実施項目の成果
1	入所者預かり金品の適正な管理	<p>1.通帳、印鑑等入所者預かり金品の管理保管を徹底します。</p> <p>2.入所者の金銭出し入れを確実にを行います。</p> <p>3.御家族へ年4回、収支状況を書面にて報告します。</p> <p>慶泉荘利用者預り金管理規程により、規定に沿った適切な管理及び出納を責任もって行っております。預り金個人元帳を送付し、希望されるご家族には丁寧な説明を行っています。</p>
2	個人情報の保護	<p>個人情報となり得る書類等の保管管理を適切に行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保管期間を遵守し、特定の場所に保管</li> <li>・担当者以外の閲覧制限</li> <li>・個人情報の迅速な更新</li> <li>・職員管理ソフト(TKC)の入力</li> </ul>
3	広報メディア活動への注力	<p>ホームページや広報誌を充実させ、積極的な情報発信によりご家族との信頼関係や地域社会との連携向上に努めます。</p> <p>ホームページの内容を常に更新し、サービス条件・概要を公開しています。財務諸表等電子開示システムとリンクし情報公表しています。</p>
4	補助金・助成金受給のため情報収集	<p>業務効率改善ツールの導入、人材雇用、職員キャリアアップにつながる助成金を情報収集し、計画を作成、円滑に受給する取り組みを進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・岩手県社会福祉施設物価高騰緊急対策支援金</li> <li>・平泉町社会福祉施設等物価高騰対策支援金</li> <li>・岩手県会議人材資質向上支援補助金</li> <li>・出生時両立支援コース助成金 受給</li> <li>・令和5年度緊急時介護人材確保・職場環境復旧等支援事業費補助金</li> <li>・日本財団福祉車両助成金 不受給</li> </ul> <p>令和5年度緊急時介護人材確保補助金は財源の限度額が超えたため、申請期限が2ヵ月繰り上がり期限に間に合わず申請不可となりました。</p>

重点目標

1. 家庭の延長と考え、在宅と変わらない生活ができる環境の提供
2. 家族との信頼関係を築き、密に連携できる体制を整える
3. 地域との関りを大切にし、施設交流を図る

重点実施項目

	実施項目	実施項目の成果
1	安心・安全で生活できる環境の提供	1) 入居前の実態調査を実施し状態把握に努め、職員への連絡、周知の徹底、受け入れ体制を整える 入居前の調査を実施し、入居前には変更等の確認を取り新状況を各課スタッフに申し送り、受け入れ体制を整えることができた 2) 入居時の説明、契約を適正に行い、家族が安心して納得できる対応に努める ご家族様には入居前には事前説明、入居当日には契約を行った。ご帰宅後に不明な点等があった際には連絡を頂きたい旨もお伝えしている。
2	家族との信頼関係の構築	1) 家族との面会の機会を増やすよう努め、日常生活の様子等情報提供をする 差し入れのみの際には、面会の声掛けを行ったがまた後で来ますとの返事が多かった。日常生活の様子は対応した職員がお伝えしている。 2) 事故、急変時には、家族と連携を取り迅速な対応に努める 嘱託医に連絡し指示を仰ぎ、すぐにご家族にも連絡をしている。 3) 苦情等には適切な処理を行い、改善案のもとサービスの提供に努める 苦情は5月に1件ありご家族に謝罪し、対策について検討し再度繰り返すことのないよう努めている。
3	地域交流	1) 広報誌『きずな』の作成と配布の継続 3ヶ月1度定期的に実施し継続している。 2) 地域住民と協力体制を取り、意見を尊重するよう努める。意見交換の実施 草刈りや慰問等の地域からの協力は得ることができた。また、冬季期間に小学校からの訪問の依頼もあったが、感染等も考慮しお断りをした。その後、生徒たちからの歌等のDVDが届き、ホールで皆さんと鑑賞した。御礼としてお手紙等を書き学校に届けている。 意見交換の場は設けることはできなかった。
4	短期入所生活介護入居者への援助	1) 各居宅支援事業所及び家族との連携に努め、スムーズな利用への取り組みに努める。 2) 事故・急変時の際には、家族・介護支援事業所へ速やかに連絡を取り適切な対応を行う。 3) 苦情相談への適切な対応を行い、より一層のサービス提供に努める。

## 職 種 介 護 課 (介護支援専門員・介護)

### 重点目標

1. 個別ケアの推進
2. 居室・ホール環境整備
3. 人材育成の推進
4. 誠実な接遇の向上
5. ケアマネジメントの構築

### 重点実施項目

	実施項目	実施項目の成果
1	個別ケアの推進	①アセスメントからの見直しを行い、24 時間シートにより一人ひとりに合ったケアを進める。 居室担当が 24 時間シートを作成しているが、その後の見直しや更新が出来ていなかった。 ②ケア向上委員会を設置し個別に合ったケアを進める。 介護知識の向上を目的とし、今年度から新たにケア向上委員会を設置している。主に三大介護(食事・排泄・入浴)について行っており、長期入所者様のケア形態に変更があった場合や新規入所者様が入所された場合、排泄・入浴・食事形態等を検討している。
2	居室・ホール環境整備	5 S 活動の実践を行い、入居者のプライベート空間・職場の環境整備を行い居心地の良い空間を構築する。 各棟の過ごし方として、居室担当者や係を中心に入居者のプライベート空間・職場の環境整備を行っている。
3	人材育成の推進	①法人理念である「笑顔に勝る介護なし」の実現のため、OJT・OFF-JT・自己研修を活用して計画的に研修に取り組み、職員のスキルアップに努める。 新入職者に対し、2 日間の Web 研修をそれぞれ実施した。 慶泉荘内部研修では、Web 研修を活用し期限を決めて提出することで、個々のスキルアップに努めた。 ②新人育成のためエルダー制度の導入をし、入居者、組織になくてはならない人材の育成をしていく。 6 月と 7 月にそれぞれ 1 名ずつの入職者に対し、エルダー制度を導入した。
4	誠実な接遇の向上	相手の立場に立った指導・ケアの質を高める。施設内研修・各棟でのグループワークを行っていく。 不適切ケアを行わないよう、言葉かけについてのアンケートを 11 月と 3 月に実施したが、3 月のアンケート結果の方が改善しているという結果につながり、職員それぞれ意識的に相手に伝える言葉のかけ方の工夫を行えていることがわかった。だがその反面、忙しさやコール対応が重なった場合、相手への言葉かけが不十分であった時があったという意見や、声掛けとケアが同時になってしまったという意見も出されていた。

5	ケアマネジメントの構築	<p>生活の継続性・自己決定の尊重・残存機能の維持向上を目指したケアプランの作成をしていく。</p> <p>ケアカンファレンスを開催し、入居者それぞれの持っている機能を見極めながら、各課の意見等を出し合いながら作成した。</p>
---	-------------	--

## 職 種 管理栄養課

### 重点目標

<ol style="list-style-type: none"> <li>1 個人に合わせた、おいしく楽しい食事の提供</li> <li>2 入居者の栄養・食事状態の把握に努める</li> <li>3 衛生管理と感染予防の徹底</li> <li>4 委託業者との連携・調理業務の管理</li> </ol>
--

### 重点実施項目

	実施項目	実施項目の成果
1	個人に合わせた、おいしく楽しい食事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者一人ひとりに合わせた形態・内容での食事を提供する。</li> <li>週3回以上のミールラウンドを実施し、利用者の方それぞれに合った食事形態や食事量を検討、提供を行った。</li> <li>軟菜食の提供頻度を増加することができた。(現在は1ヶ月の間に2週間提供)</li> <li>・季節ごとの行事・イベントの食事の企画をする。</li> <li>毎月、季節ごとに行事食を提供し、食事から季節感を味わっていただけるように努めた。実演の握り寿司提供は、利用者の方が喜ばれていた為継続していきたい。</li> </ul>
2	入居者の栄養・食事状態の把握	<ul style="list-style-type: none"> <li>・嗜好調査を実施し嗜好に合わせた食事の提供に努める。</li> <li>嗜好調査を実施し、給食会議にて話し合い、少しでも多く嗜好に配慮した食事が提供できるよう努めた(生果物、納豆の提供頻度増加、利用者の方が好まれる味付けの食事提供など)。</li> <li>・食事状況の観察を行い、摂取量や嚥下状態などを確認し、状態に合わせた食事提供につなげる。</li> <li>ミールラウンドより、摂取量が少ない方や摂取動作が難しくなっている方などを把握し、好きな物を一緒に提供し摂取量が増加できるよう努めたり、自助食器の検討や座位姿勢を見直し、自力摂取が継続できるよう支援を行った。</li> </ul>
3	衛生管理と感染予防の徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全な食事提供を行うため、大量調理マニュアルに基づき管理点検を行う。</li> <li>・厨房内の衛生管理を徹底し、点検記録簿の確認実施</li> </ul>

		<p>する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染予防のための正しい手洗いの啓発、食中毒など感染症に関する情報の早期収集と伝達を行う。</li> </ul> <p>調理過程の管理・点検、厨房内の衛生管理を行い、食中毒などを出さず、安全な食事の提供が行えた。感染症(コロナ感染症)発生時の食事提供については、マニュアルを作成しそれに沿って多職種で協力しながら食事の提供が行えた。</p>
4	委託業者との連携・調理業務の管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会の開催により、委託業者・各職種との情報共有を図る。</li> <li>・委託業者との連携により、協力して業務を行う。</li> </ul> <p>委員会を通して、委託業者・各職種との情報共有、意見交換を行い、新たに麺類の提供などを開始し、より利用者の方に喜んでいただける食事の提供に繋がられるよう努めた。</p>

## 職 種 看護課

### 重点目標

<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 入居者の健康管理に努める</li> <li>2. 嘱託医・協力医療機関との連携</li> <li>3. 感染症予防、まん延防止に努める</li> <li>4. 残存機能の維持に努める</li> <li>5. 職員の健康管理に努める</li> </ol>
--

### 重点実施項目

	実施項目	実施項目の成果
1	入居者の健康管理に努める	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般状態の観察及び平常時の把握に努め、異常時の早期発見、対応にあたる。</li> <li>・オンコール体制のもと、急変時の対応を行う。</li> <li>・状態変化時は、嘱託医、ご家族、各部署への情報提供を行う。</li> </ul> <p>職員との連携により入居者の異常時や急変の早期発見・報告が可能になっているため、早期の病院受診につながった。家族へも状態の経過報告を行っている。</p>
2	嘱託医・協力医療機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・嘱託医、協力医療機関との連携を密に行い家族への説明等は誠意をもって対応する。</li> </ul> <p>主に嘱託医へは、回診時に状態経過報告実施している。その際の指示に従い、臨時薬を服用し経過観察または病院受診、看取り対応を実施した。家族へも体調悪化時や看取り対応への移行時にわかりやすい説明をこころがけた。</p>
3	感染症予防、まん延防止に努める	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症の時期や流行情報の収集に努め、各部署との連携を図り必要な策を講じる。</li> </ul> <p>新型コロナウイルス感染症の集団感染発生時は、</p>

		<p>感染対策に基づき対応したが職員の感染者も多く発生してしまった。出勤可能な職員が少ないため、他部署からの協力により応援職員を派遣して頂き入居者へのケアを維持できた。</p>
4	残存機能の維持に努める	<ul style="list-style-type: none"> <li>・残存機能の維持向上を図り、生活機能の維持向上を図る。 日常生活で行える動作を継続し、機能の維持を目指している。</li> </ul>
5	職員の健康管理に努める	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の健康診断及び予防接種の実施や腰痛予防への取り組みを行う。 例年通り予防医学協会へ依頼し、職員と入居者の健康診断を実施した。 予防接種は、インフルエンザワクチン・新型コロナワクチンを実施した。</li> </ul>